

報告日 令和7年11月14日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	徳島市（徳島東部地域定住自立圏 行政運営に関する研究会事務局）			代表者名	吉田 憲司
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務部行財政経営課	連絡先電話番号	088-621-5113
担当者役職	主査	担当者氏名	辻 尚子	連絡先E-mail	
住所	770-8571 徳島県徳島市幸町2丁目5番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	生成AI活用研修事業
概要	本市が中心市となっている徳島東部地域定住自立圏の圏域自治体の職員を対象とし、生成AIの実践的な活用に関して、専門的な指導と、活用時の留意事項について講演いただきたい。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	623	令和7年11月10日	講演	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月6日	講演（オンライン）	13時00分	15時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようにところがよかったか等詳細に）	「AIって怖くない！ゼロから始める自治体の生成AI入門」と題し、生成AIの基本概念から行政での具体的な活用方法まで、専門的な内容を分かりやすく説明していただいた。特に、議会資料や復命書などの文書作成支援や生成AIを活用した画像編集方法など、行政業務における多様な活用方法を具体的に示していただけたことで、活用イメージが明確になった。また、セキュリティやプライバシー、著作権などのリスク対策についてもアドバイスをいただき、安全な運用に向けた重要な知見を得ることができた。生成AIを導入していない自治体にも導入に向けたアドバイスをしていただき、オンライン形式でありながら充実した研修となった。これらの理由により「大変良い」と評価した。
アドバイザーへの要望事項	生成AIを導入していない自治体においても、安全に導入を進められるよう、継続的なご指導・ご支援をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	24人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	24		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	生成AIサービスの利用が急速に普及しており、行政事務においても様々な場面で活用されることで、事務の効率化や市民サービスの向上に資することが期待されている。一方で、情報漏洩や権利の侵害等の様々なリスクも指摘されている。そのため、正しい活用方法を十分理解し、適切なガイドラインに基づいて生成AIの本格的な活用を進めていかなければならない。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今回の講義（支援）で、生成AIの正しい活用方法を十分理解し、業務効率の大幅な向上と市民サービスの質的改善の実現を目指す。また、生成AIを導入していない自治体においては、導入を完了させる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIの基本概念から行政での具体的な活用方法、さらにセキュリティやプライバシー、著作権などのリスク対策について講義していただいた。 特に生成AIシステム(zevo)を使用して生成AIの実演を行っていただき、活用のイメージが明確になった。 また、生成AIを導入していない自治体に向けて契約面での工夫等、導入へのアドバイスをいただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回の支援により、生成AIの基本から実践的な活用方法まで体系的に学ぶことができた。また、行政特有のセキュリティやプライバシー保護などのリスク対策についてもアドバイスをいただき、安全で適切な生成AI活用の方向性が明確になった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 今回の支援は、連携市町村でオンラインによる講演を受講するものであったため、具体的な成果物はできていない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修で生成AIの基本的な活用方法は理解できたが、実際の業務における最適な活用方法については、各職員が実践を通じて習得していく必要がある。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても構構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本事業ではアンケートは実施しないことになった。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ⑤その他 各自治体で、業務特性に応じた、より効果的な活用手法の開発や、職員全体のスキル向上に向けた継続的な学習体制の構築を行っていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生成AIの具体的な活用方法と導入に向けた課題について知識を深め、職員がAI活用に対する不安やためらいを払拭し、生成AIを業務で活用できるようにすることで、職員の業務効率化と市民サービスの向上を目指す。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」

今回の派遣における地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」のURLを記入下さい。

